

(様式2)

## 指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和6年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	健康福祉部障がい者支援課
指定管理者	社会福祉法人 長野県社会福祉事業団

### 1 施設名等

施設名	長野県障がい者福祉センター(サンアップル)	住所	長野県長野市大字下駒沢586
		電話	026-295-3111
		ホームページ	<a href="https://www.sun-apple.jp/">https://www.sun-apple.jp/</a>

### 2 施設の概要

設置年月	平成10年4月	根拠条例等	長野県障がい者福祉センター条例
設置目的	障がい者福祉の増進を図ることを目的として、スポーツ、レクリエーション、文化活動及び研修のための便宜を総合的に提供する。		
施設内容	＜スポーツ施設＞ 屋内温水プール、体育館、トレーニングルーム、卓球室、テニスコート、アーチェリー場、陸上競技場 ＜文化施設＞ ホール、会議室(4室)、展示ホール、宿泊室(6室)		
利用料金	＜障がい者等が利用する場合＞ 宿泊施設(1,000円/泊) ＜障がい者等以外が利用する場合＞(障がい者は無料) プール(無料～500円)、体育館(50～150円、半面利用1,000～4,750円、全部利用2,000～9,500円)、トレーニング室(50～150円) 卓球室(400円/2h)、テニスコート(1,500円/2h)、アーチェリー場(50～150円、専用300円/2h)、陸上競技場(50～150円、専用800～2,200円) ホール(3,100～19,900円)、会議室(700～5,800円)		
開所日	休館日 毎週月曜日、祝日の翌日、毎月第2火曜日、年末年始等を除く		
開所時間	9:00～21:00(火～土曜日)、9:00～17:00(日曜日、祝日)		

### 3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	社会福祉法人長野県社会福祉事業団
平成18年度～25年度	指定管理	社会福祉法人長野県社会福祉事業団
平成26年度～30年度	指定管理	障がい者スポーツ振興グループ
平成31年度～令和5年度	指定管理	社会福祉法人長野県社会福祉事業団

### 4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	社会福祉法人 長野県社会福祉事業団	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

### 5 指定管理料(決算ベース)

令和6年度(A)	令和5年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
277,291千円	276,545千円	746千円	
	増減理由	価格高騰分の光熱費分の実績増による。	

### 6 指定管理者が行う業務

<ul style="list-style-type: none"><li>センターの施設及び備品の維持管理に関する業務</li><li>身体障がい者に対する機能訓練並びに障がい者の教養の向上、社会との交流促進及びレクリエーションのための便宜の供与に関する業務</li><li>障がい者福祉の増進に資する事業に関する業務で知事が必要と認めるもの</li><li>センター利用の許可に関する業務、センター利用に係る料金に関する業務</li><li>上記に掲げる業務に附帯する用務</li></ul>
--

### 7 利用実績等

#### (1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	7,816	8,729	9,523	12,291	9,606	8,801	9,487	8,012	7,043	7,021	8,254	10,529	107,112
令和5年度(B)	6,912	7,158	8,532	11,569	8,809	8,344	8,627	8,005	7,222	7,414	7,940	9,052	99,584
(A)/(B)	113.1	121.9	111.6	106.2	109.0	105.5	110.0	100.1	97.5	94.7	104.0	116.3	107.6
増減要因等	令和6年12月～令和7年1月にサンアップルプールは指定修繕のため、また、サンスポーツ駒ヶ根(看護大学プール棟)では、令和6年12月～令和7年3月まで改修工事のため、12月～1月は前年度より利用人数は減少したものの、総じて前年度より増加している。												

#### (2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	408	376	404	515	539	451	402	378	233	370	724	723	5,523
令和5年度(B)	351	291	409	452	475	386	371	365	259	367	457	440	4,623
(A)/(B)	116.2	129.2	98.8	113.9	113.5	116.8	108.4	103.6	90.0	100.8	158.4	164.3	119.5
増減要因等	年間として、一般利用者は増えてきてはいたが、令和7年2月から近隣の体育館、プールが大規模改修に入り使用できなくなったことで、より一般利用者が増えたことが要因と考えられる。												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和6年度(A):287日 令和5年度(B):287日	令和6年度(A):9:00~21:00 令和5年度(B):9:00~21:00	無	

(5) サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示コーナーの活用として、利用者が気軽に音楽を楽しめる「ロビーコンサート」を2回開催した。</li> <li>・東信地域の優秀作品展と併せて、創作活動の体験会(ワークショップ)を実施し、創作活動の機会を提供した。</li> <li>・日本パラスポーツ協会による、パラスポーツ構築支援事業を活用し、スポーツ用車椅子(大人5、キッズ4)、ハンドサイクル、バイスキー、トレーニング機器を導入した。スポーツ用車椅子については、大人用、キッズ用をサンスポーツに配置し、地域での活動機会を向上することができた。</li> <li>・サンスポーツ駒ヶ根では、プール改修工事に伴いプールが使用できなくなったが、地域の会場確保、新たな事業企画を行い、活動の場を作ることに努めた。その中でスマートフェンシングという新たなスポーツに触れ合う機会を生み出すことができた。</li> </ul>
--

(6) その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃、触れる機会の少ないパラスポーツ種目について、パラ競技団体と連携し、大会や合宿等を誘致すると同時に、各種目の体験会を行うことで、競技に触れる機会と、選手との交流の場を作った。また、「障がい者スポーツセンター協議会」や「日本障がい者体育・スポーツ研究会」での活動発表をはじめ、パラスポーツ・地域スポーツに関する講習講師やスポーツ推進に関わる委員を受けることにより、当センターの活動経験を生かし広域でのパラスポーツの発信に取り組んだ。</li> </ul>
--

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客満足度調査等のご意見・ご要望を受け、経年劣化による水回りの不具合について順次修理、交換を行った。また、利用者快適に使用できるようにトレーニング機器3台(筋トレ機器2台、有酸素機器1台)を更新した。</li> </ul>
---

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	・協定書・仕様書及び年度計画に基づき、施設の設置目的に沿った効率的・効果的な管理運営を実施した。	・協定書、仕様書及び年度計画に基づき適正に運営が行われている。	B
平等な利用の確保	・長野県障がい者福祉センター条例及び同管理規則等の主旨に沿った利用上の内規を定め、障がい者等の利用を妨げない範囲内において、障がい者等以外の者を含む全ての利用者が、公平・平等に利用いただけるよう努めている。	・施設の設置目的上、障がい者やその介護者が優先利用できるように配慮しつつ、障がい者の利用を妨げない範囲で健全者が利用できるよう配慮している。また、広く県民に利用してもらえるよう施設の利用方法についてルールを設けている。	B
利用者サービス向上の取組	・登録クラブの活動支援及びクラブ大会の実施により利用者の参加種目の拡大と活動の場を増やすことに取り組んだ。 ・広報誌、事業要項等にQRコードを付け、手軽にネットを介して、事業の詳細を伝えられるように工夫した。	・年間を通じて満足度調査を実施しており、利用者からの意見・要望については職員で共有し、改善が必要な事項については、速やかに改善して利用者サービスの向上につなげている。	B
自主事業	・パラスポーツ振興のステップとして、センター事業から、地域主体の事業へつなげていくことを目的に、地域との連携を積極的に展開し、地域自走へ向けての連携事業を行った。 ・長野県障がい者文化芸術祭「優秀作品展」に合わせて、地域の障がい者施設等と作品の展示会を合同で開催した。	・文化芸術に親しむことができるよう、長野県障がい者文化芸術祭の開催(WEB展示会も併せて)や交流イベントの開催などの障がい者の社会参加拡大に係る活動を継続的に実施している。	B
職員・管理体制	・仕様書及び事業計画に基づく職員配置に努めた。 ・利用者の安全確保のため、施設・設備の適正な法定点検を実施すると共に、消防訓練(年2回)及び水防訓練(年1回)、洪水等避難訓練(年1回)を行った。	・事業計画に沿った職員配置ができている。 ・施設、設備の法定点検や消防・水防訓練等の実施により、障がい者が安全に利用できるよう取り組んでいる。	B
収支状況	・収入額 289,103千円 ・支出額 282,895千円(うち人件費142,261千円) ・収支差額は6,208千円	物価高騰の影響を受けたが適正な収支状況である。	B
総合評価	通年を通して関係団体と連携し事業を実施できた。センターだけでは実施できない事業も提供する中で、利用者数及び利用料収入が増加した。	概ね仕様書に沿った適切な事業運営が行われている。	B

- <評価区分>
- A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
  - B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
  - C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
  - D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	・施設の建設後27年が経過するなかで、令和6年度特定建築物等調査で県に提出したとおり、施設設備等の経年劣化および地盤沈下が建物にも大きな影響を及ぼしている。	・建物及び設備の修繕について、引き続き計画的に実施していく必要がある。

## 10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和2年12月18日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
1 顧客満足度調査のアンケート項目の見直しを適時行い、利用者のニーズを分析し、同時に施設のサービス評価委員の評価も受けながらより良い施設運営を行ってほしい。 2 多様な自主的企画に取り組まれているが、ぜひ、その企画・運営等にも可能な限り障がい等のある当事者の参加を検討してほしい。	1. 利用者層、ニーズを把握し事業内容を工夫すると共に、サービス評価委員からの意見を取り入れ運営に努めた。 2. 当センター事業のボランティアや大会スタッフとして障がい当事者の参加が増えた。また、登録クラブにおいても、主体となって企画する大会や体験会、地域と共同で事業を行ったり、指導をしたり、当事者の主体的活動が増えた。サンアップルは、主体的活動のきっかけづくり、後押しを行った。	1 利用者ニーズを的確に把握・分析し、委員の意見も踏まえながら、より良い施設運営を行う必要がある。 2 競技大会において、当事者の参加のみでなく、当日の運営に障がい者競技団体が参画している。今後一層、障がいのある方が企画、運営に携わっていただけるように働きかけを行う必要がある。
広い県内ではあるが、中信、南信等の利用希望者も平等に施設が利用できるよう努力してほしい。	・環境的には全県からの施設利用を進めてもスポーツ・運動が身近で日常的に行える環境には程遠い。全県に平等に機会をつくるため、4つのサンスポートが地域のスポーツ施設を利用し事業を行っている。その中から地域が主体となった活動も生まれてきている。また、施設内で開催するプログラムをライブ配信で提供し、各地の機会づくりに努めた。	・行政・福祉・スポーツ団体と連携・協力し、県内全域の障がいのある方のスポーツ振興を、各地にあるサンスポートを拠点に今後も、継続して取り組んでいく必要がある。
1 施設のホームページのサービスメニュー欄が煩雑な印象で見づらいため、多様な利用者を受け入れられるような構成にしてほしい。 2 利用者増が伸び悩んでいる現状と、市町村等の施設でも障がい者に対するサービス提供が進む中、他の施設にはない特色を出し、さらなる利用率向上に努めてほしい。	1. 令和6年ホームページを一新し、必要な情報を視覚的により早く取得できるように工夫している。 2. 地域との連携事業や指導者派遣等の活動を行うことで、当センターで培った経験とノウハウを多くの地域の現場で生かせるようにするとともに、全国の関係団体とのつながりを生かし、県内に実施環境のないスポーツの体験や指導技術を取得する研修の機会をつくり、その後の実践へ広げる活動を行った。	1 利用の向上につながるような広報活動を検討していく必要がある。 2 当センターの特色である専門性を兼ね備えたスポーツ・運動の支援・指導を進めていく必要がある。
所管課は、事業計画に沿った職員配置となっているとの評価ではあるが、人件費の決算が予算比10%減となっている。そのことへの合理的な説明が施設側からなく、また想定し得る人事異動等が加味されていない。	・予算の策定においては、決算状況をしっかりと分析し、人材確保の努力はしつつ、人事異動も加味した内容とする。	・予算・決算のかい離については、十分な分析を行うとともに、説明責任を果たせるよう取り組む。また事業計画書作成時には、計画的な人員配置及び人事異動等を加味した予算編成に努める必要がある。
1 各事業の取組について、障がい者団体等だけでなく、県民一人ひとりにもその内容を伝え、参加の呼びかけを行ってほしい。 2 他団体と共同しての企画の取組は良いことであるので、今後も一層連携して実施してほしい。	1. 従来の広報活動に加え、市町村や地域団体に出向いたり、地域施設の利用から、互いに事業連携をとり、これまでサンアップル・サンスポートと関わりの無い者、パラスポーツと接点の無かった者への発信を広げている。 2. スキー教室においては、日本障がい者スキー連盟と合同で行うことにより、参加者の受け入れ拡大、専門指導者の充実、費用の削減を同時に行うことができた。同様に、ムーブメント研修会や中央競技団体の発掘事業など、他団体と共同することで長野を会場に実施される機会を増やし、当センターだけでは作れない機会を生み出した。 2. 長野県障がい者芸術文化活動支援センター(ザワメキサポートセンター)と情報共有し、事業にいかしている。	1 より多くの方々に事業を伝える広報活動を心掛ける必要がある。 2 行政をはじめ、様々な団体等との協働・連携を通じて事業を進めていく必要がある。
修繕費について、修繕が必要となった経緯が不明確なものが見られる。	・緊急性、必要性を考慮し、修繕に至った経緯やその経過も説明責任を果たせるように努める。	・小規模修繕を実施する際にも、修繕が必要となった経緯や修繕の必要性をしっかりと分析し、適切な修繕に努める必要がある。
1 県の定期的なモニタリングを強化し、予算の適正な執行をしてほしい。 2 障害福祉サービス分野は法律改正等、常に制度が変化していることから、常に情報を速やかに入手し、先駆的施設として取り組んでほしい。	1. 県と指定管理者で相談し連携をとりながら、適正な予算の執行に努めている。 2. スポーツ庁・日本パラスポーツ協会・全国レベルの研究会、市町村のスポーツ推進等の委員を職員がR6年度も委嘱され、また、全国の指導者対象の養成研修等の講師を務めており、情報収集・発信には常に努めている。	1 県と指定管理者とで連携を密にとり、適正な執行となるよう努める。 2 県をはじめとする行政機関や事業団本部事務局、他県の同種施設等とのつながりを深め、情報収集に努めるとともに、情報発信を行う必要がある。
全国障害者スポーツ大会の長野県開催が予定されている中、市町村も障がい者スポーツ行政の機運醸成に取り組んでいる。そこで施設を県民に広げる観点と、市町村の障がい者スポーツ推進の観点からも、より両者の連携を深めてほしい。	・全国障害者スポーツ大会の長野県開催を機運とし、障がいのある方もない方も利用しやすい施設・事業方法へ向けた発信・相談をハード面、ソフト面ともに行っている。全国障がい者スポーツ大会後のスポーツ振興を視野に入れ、市町村や施設運営者との連携を深め、現場視察・相談・事業連携を積極的に受け入れている。	・誰にとっても利用しやすい施設を目指すとともに、本館、サンスポートでは、障がいのある人のスポーツ推進に向けて用具の貸し出しを継続する。また、多くの方に障がい者スポーツを実践していただけるよう市町村等との連携・協力を図る必要がある。